

関東大震災と 作家たち

日時

2024年
9月8日（日）

13:20～13:30 学生募集案内
13:30～15:00 公開講演会
15:00～15:30 休憩
15:30～16:00 学生交流会

土佐市複合文化施設つな一で3階大会議室 土佐市高岡町乙3451-1

参加費無料 定員50名（先着順） 申込締切9月3日（火）

講演 概要

高知は歴史上これまでに幾度も大きな震災に見舞われてきました。大きな災害は町やコミュニティの崩壊だけでなく、人びとの心にも大きな歪みを生み出し、対立などの深刻な問題を引き起こします。今回の講演では関東大震災後の作家たちの言語活動を見ていきます。芥川龍之介や志賀直哉などの著名な作家が関東大震災という大きな災害のなかで、どのように言葉を残したのかを見ていくことで、現代のわれわれの行動などを省みるきっかけになるかと思います。また昭和南海地震時の作家の作品も少しながら残っています。それらも紹介することで、作家・文学作品の意義を考えていきたいと思っています。

講師 略歴

講師：田中 裕也 先生

（高知県立大学准教授、放送大学高知学習センター客員准教授）

2015年同志社大学大学院博士課程修了（博士・国文学）、日本学術振興会特別研究員、龍谷大学文学部講師を経て現在は高知県立大学文化学部准教授



お申込み
お問い合わせ

放送大学高知学習センター 開所時間9:10～17:00 ※月・祝は閉所
TEL:088-843-4864 MAIL:kochi39@ouj.ac.jp

後援：高知県教育委員会、土佐市教育委員会、土佐市立市民図書館、高知新聞社・RKC高知放送、NHK高知放送局、KSSさんさんテレビ、KUTVテレビ高知、エフエム高知